2015年度決算及び2016年度業績見通し

2016年5月12日

三菱商事株式会社

(将来に関する記述等についてのご注意)

- ・ 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により 変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。
- ・ また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報、及び資料の利用は、他の方法により入手された 情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

(本資料における留意点について)

・ 本資料における「連結純利益」は、非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する当期純利益の金額を表示しています。また、「資本」は、 資本合計の内、非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する持分の金額を表示しています。

2015年度決算

 2014年度
 2015年度

 実績
 増減

2015年度 業績見通し *2 増減

連結純利益

資源 *1 非資源

765億円	▲3,802億円	▲4,567億円
3,234億円	2,487億円	▲747億円

▲1,500億円 +6億円

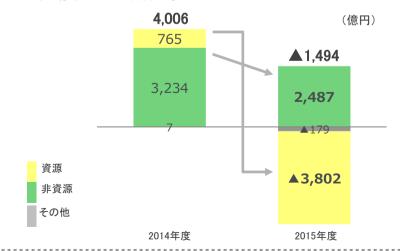
▲4,063億円 +261億円 2,430億円 +57億円

*2:2016年3月24日公表

*1:4ページの注書き 参照

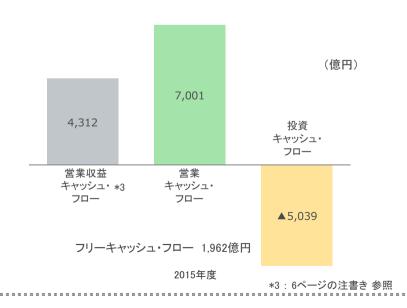
2015年度の実績

- ✓ 総額▲4.260億円の大口損失を計上。
- √ 資源分野は、市況の下落による持分利益の減少に加え、
 ▲3,850億円の大口損失などにより、減益。



2015年度のキャッシュ・フロー

✓ Olam社への出資などの投資CFを営業CFが上回り、 フリーキャッシュ・フローは1,962億円の黒字。



2016年度業績見通し

2015年度実績

2016年度 業績見通し

増減

連結純利益

▲1,494億円

2,500億円

+3,994億円

資源 非資源 ▲3,802億円 2,487億円 100億円 2,420億円 +3,902億円 ▲67億円

1株当たり配当

50円

60円

+10円

2016年度業績見通し

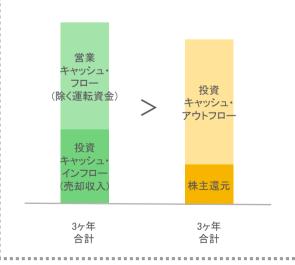
- ✓ 資源分野は、引き続き厳しい事業環境を想定。
- ✓ 非資源分野は、安定的な利益を見込む。

(億円)



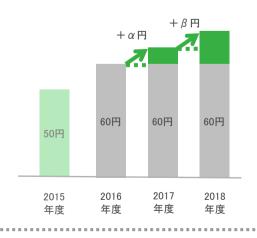
キャッシュ・フロー管理方針

- キャッシュ・フローを重視し、有利子負債の水準をコントロール。
- ✓ 向こう3ヶ年はキャッシュ創出額の範囲内で 投資と株主還元を実行。



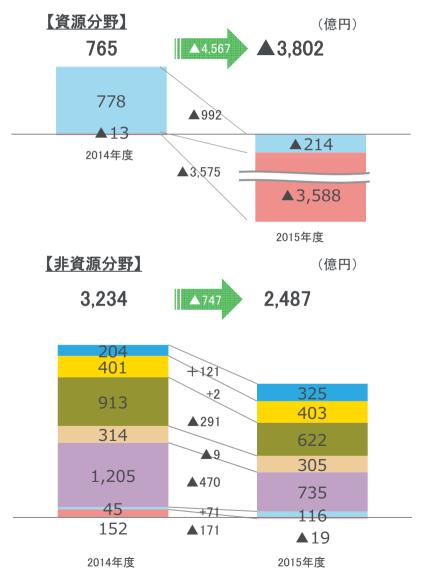
株主還元

- ✓ 2016年度は、当面の事業環境を考慮し、60円。
- ✓ 持続的な利益成長にあわせて増配して行く 累進配当を基本方針とする。



資源・非資源分野別セグメントの状況

※「資源分野」は「エネルギー事業」の内、天然ガス及びE&P、「金属」の内、金属資源を含めています



エネルギー事業(資源分野)

市況悪化に伴う資源関連投資先からの受取配当金の減少及び資源関連資産の減損損失など

金属(資源分野)

資源関連資産の減損損失など

地球環境・インフラ事業(前年度比 +59%増益)

北海油田案件における債務保証損失引当金の振り戻しなど

新産業金融事業

_

機械(前年度比 ▲32%減益)

アジア自動車関連事業の減速及び船舶事業における一過性の損失など

化学品

_

生活産業(前年度比 ▲39%減益)

前年度に計上した減損振り戻し益の反動など

エネルギー事業(非資源分野)(前年度比 +158%増益)

前年度LPG関連事業における採算悪化の反動など

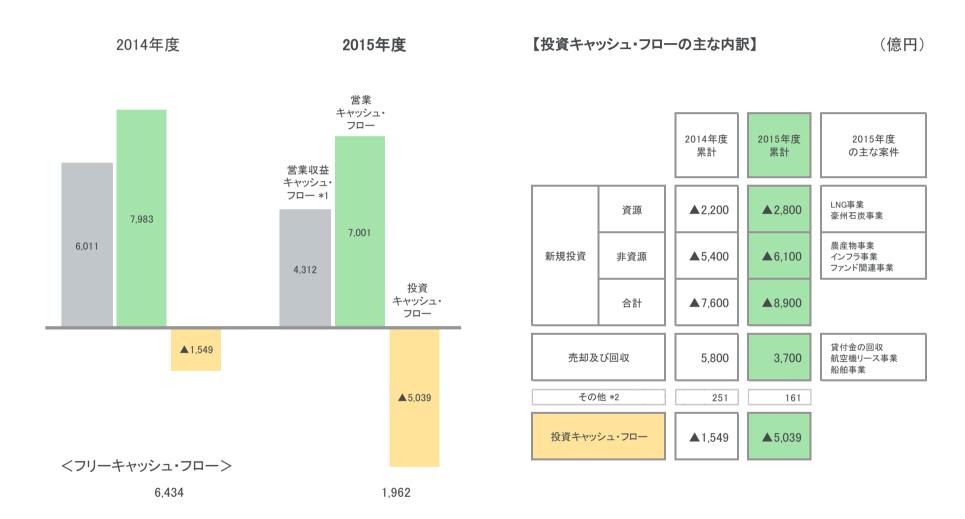
金属(非資源分野)

鉄鋼製品事業及び金属資源トレーディング事業における取引利益の減少など 4

2015年度大口損失の状況(要因別)

(億円)	大口損失通期累計	損失計上に至った経緯等
資源(金属)		
チリ・銅(AAS)	▲2,710	銅価格見通しの引き下げ
豪州•鉄鉱石	▲290	鉄鉱石価格の下落
南ア・フェロクロム	▲170	フェロクロム価格の下落
小計	▲3,170	
資源(エネルギー事業)		
西豪州 ブラウズLNG	4 00	 開発計画の見直し
E&P事業	400	州元引回の元直し
アジア	▲80	 原油・ガス価格見通しの引き下げ
パプアニューギニア	▲ 80	開発計画の遅延
北海(廃坑費)	▲ 40	
北米	▲ 40	原油・ガス価格見通しの引き下げ
シェールガス	▲ 40	遊休資産の再評価
小計	▲680	
1.2.		
非資源	▲ 410	船舶関連、海外発電事業等
숌計	▲4,260	

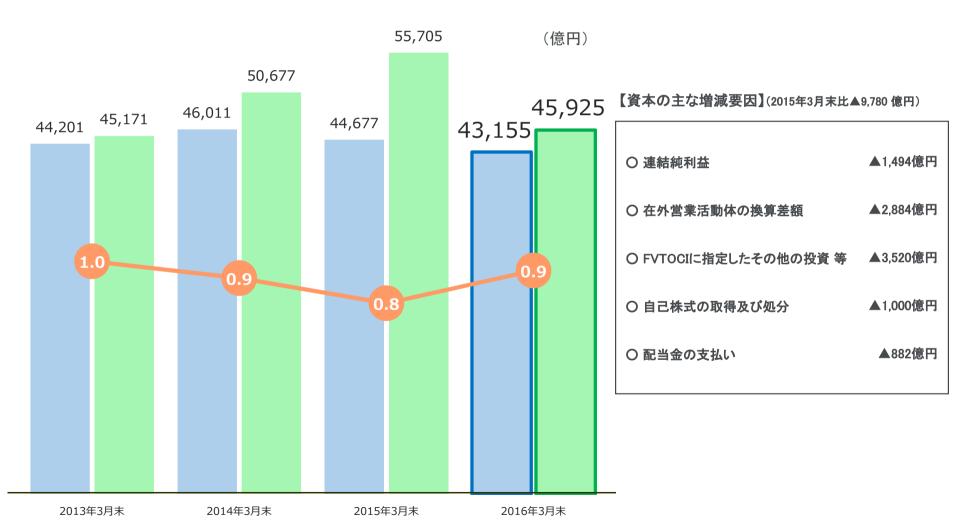
キャッシュ・フローの推移



^{*1} 営業収益キャッシュ・フロー: 資産負債の増減の影響を控除した営業キャッシュ・フロー (連結純利益(非支配持分を含む)+減価償却費ー投資活動関連損益 -未配当の持分法損益-貸倒費用等-繰延税金)

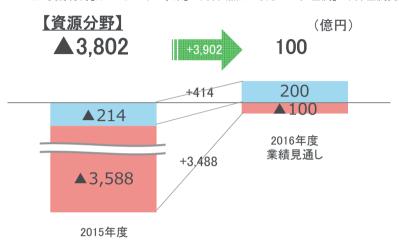
資本と有利子負債の推移





資源・非資源分野別セグメントの業績見通し

※「資源分野」は「エネルギー事業」の内、天然ガス及びE&P、「金属」の内、金属資源を含めています







エネルギー事業(資源分野)

資源関連資産の減損損失の反動など

金属(資源分野)

資源関連資産の減損損失の反動など

地球環境・インフラ事業(前年度比 ▲23%減益)

北海油田案件における債務保証損失引当金の振り戻しの反動など

新産業金融事業(前年度比 ▲18%減益)

航空機や不動産の売却益の減少など

機械(前年度比 +5%増益)

アジア自動車事業での販売減少の一方、前年度一過性損失の反動など

化学品(前年度比 ▲18%減益)

石化関連事業における持分利益の減少など

生活産業(前年度比 +1%増益)

前年度一過性利益の反動がある一方で、 鮭鱒養殖事業などで収益改善が見込まれることなど

エネルギー事業(非資源分野)

金属(非資源分野)

金属資源トレーディング事業における増益など

【参考】市況の状況

【為替・商品・金利市況の状況】

	2015年度 実績	2016年度 業績見通し	増減	連結純利益に対する損益インパクト
為替(円/US\$)	120.1	110.0	▲10.1	1円の円安/円高につき年間15億円の増益/減益インパクト。
油価(US\$/BBL) (ドバイ)	45.5	37	▲8.5	US\$1/BBLの上昇/下落につき年間20億円の増益/減益インパクト。但し、油価の変動以外にも、連結会社との決算期の違い、販売価格の油価反映へのタイミング、配当性向、為替要因、生産・販売数量等の複数の影響も受けるため、油価のみで単純に決定
銅地金 (US\$/MT) [¢/lb]	5, 2 15 [237]	4 ,630 [210]	▲ 585 [▲ 27]	US\$100/MTの上昇/下落につき年間9億円の増益/減益 インパクト(US¢10/lbの上昇/下落につき年間19億円の増益/ 減益インパクト)。 但し、銅の価格変動以外にも、粗鉱品位、生産・操業状況、 再投資計画(設備投資)等の要素からの影響も受けるため、 銅の価格のみで単純に決定されるものではない。
円金利(%) TIBOR	0.16	0.20	+0.04	取引利益や投資利益により金利上昇の影響は相殺される部分
US\$金利(%) LIBOR	0.41	1.00	+0.59	が相当あるが、金利上昇が急である場合には一時的に影響を 受ける。

補足資料

●オペレーティング・セグメント情報 ··· P. 11~17

●セグメント別新規投資・資産入替実績 ··· P. 18

●一過性損益 ··· P. 19

●資源分野 主な投資残高 ··· P. 20

●資源その他 ··· P. 21~30

●非資源その他 ··· P. 31~36



地球環境・インフラ事業(インフラ関連事業)セグメント



	2014年度	2015年度
売上総利益	316	361
持分法損益	289	295
連結純利益	204	325

	2015年3月末	2016年3月末
セグメント資産	9,962	10,068

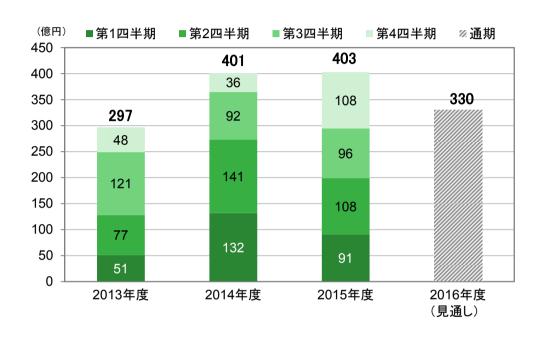
2016年度 通期見通し (5/10公表)
_
-
250

<2015年度 決算の概況>

- ▶当年度の連結純利益は325億円となり、前年度比+121億円の 増益となった。
- ▶これは、北海油田案件における債務保証損失引当金の振り戻しなどによるもの。

- ➤ 2016年度の当期純利益見通しは250億円と、2015年度比 ▲ 75億円の 減益となる見込み。
- ▶これは、北海油田案件における債務保証損失引当金振り戻しの反動などによるもの。

新産業金融事業セグメント



<2015年度決算の概況>

▶当年度の連結純利益は403億円となり、前年度比+2億円の増益となった。

- ▶ 2016年度の当期純利益の見通しは330億円と、2015年度比▲73億円の 減益となる見込み。
- ▶ これは、航空機や不動産の売却益の減少などによるもの。

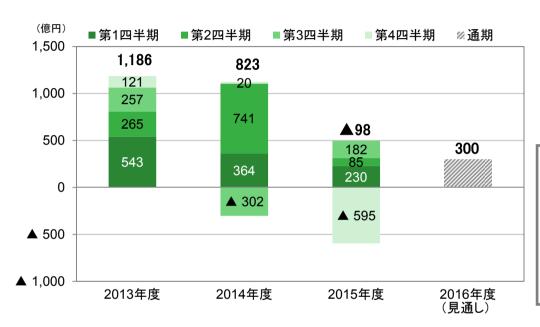
	2014年度	2015年度
売上総利益	757	618
持分法損益	331	175
連結純利益	401	403

2016年度 通期見通し (5/10公表)
_
_
330

	2015年3月末	2016年3月末
セグメント資産	8,958	8,703



エネルギー事業セグメント



ドバイ油価推移 (US\$/BBL)	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
2013年度	100.8	106.3	106.8	104.5
2014年度	106.1	101.5	74.4	51.9
2015年度	61.3	49.7	40.7	30.4

<2015年度決算の概況>

- ▶当年度の連結純利益は▲98億円の損失となり、前年度比▲921億円の 減益となった。
- ▶これは、資源関連資産の減損損失や市況悪化に伴う資源関連投資先からの受取配当金減少などによるもの。

	2014年度	2015年度
売上総利益	592	354
持分法損益	716	▲40
連結純利益	823	▲98

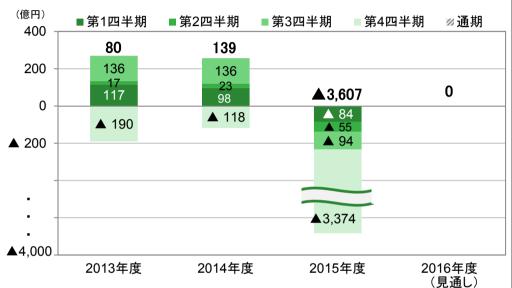
	2016年度 通期見通し (5/10公表)
54	_
10	_
8	300

- ▶2016年度の当期純利益の見通は300億円と、2015年度比398億円の 増益となる見込み。
- ▶これは、資源関連資産の減損損失の反動などによるもの。

	2015年3月末	2016年3月末
セグメント資産	22,536	20,362



金属セグメント



<2015年度決算の	概況>
------------	-----

▶当年度の連結純利益は▲3,607億円の損失となり、前年度比▲3,746億円の減益となった。

▶これは、資源関連資産の減損損失などによるもの。

▶主要連結会社等の状況:増減('144Q→'154Q)【億円】

鉄鋼製品 ・メタルワン ▲36 (136 → 100)

銅 ・ジエコ/JECO2(エスコンディダ) ▲75 (72→▲3)

•MC Copper(ロスペランブレス) ▲16 (31→15)
 •アンタミナ(単体)配当収入(税後) ▲14 (56→42)

•MC Resource Development (AAS) ▲2,738 (▲57→▲2,795)

	2014年度	2015年度
売上総利益	1,993	1,391
持分法損益	27	▲2,789
連結純利益	139	▲3,607

2016年度 通期見通し (5/10公表)
_
_
0

<2016年度通期業績見通し>

▶2016年度の業績見通しは、2015年度比+3,607億円の改善となる見込み。

▶これは、資源関連資産の減損損失の反動などによるもの。

	2015年3月末	2016年3月末
セグメント資産	47,968	35,579

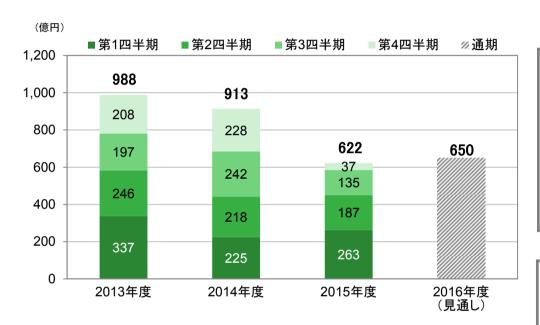
機械セグメント

2016年度

通期見通し

(5/10公表)

650



	2014年度	2015年度
売上総利益	1,973	1,980
持分法損益	322	251
連結純利益	913	622

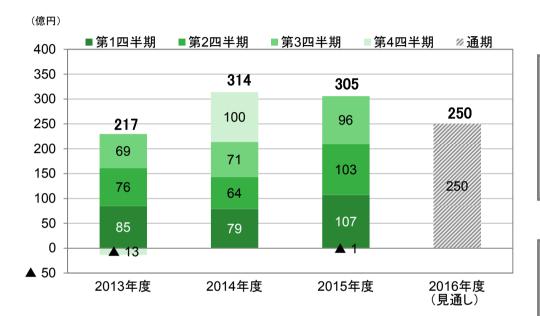
	2015年3月末	2016年3月末
セグメント資産	19,991	17,269

<2015年度決算の概況>

- ▶当年度の連結純利益は622億円となり、前年度比▲291億円の 減益となった。
- ▶これはアジア自動車関連事業の減速や、船舶事業における一過性の 損失などによるもの。

- ▶2016年度の当期純利益の見通しは650億円と、2015年度比+28億円の 増益となる見込み。
- ▶これはアジア自動車事業での販売減少の一方、前年度における 一過性損失の反動などによるもの。

化学品セグメント



	2014年度	2015年度
売上総利益	1,109	1,126
持分法損益	188	154
連結純利益	314	305

	2015年3月末	2016年3月末
セグメント資産	9,755	8,705

2016年度 通期見通し (5/10公表) --250

<2015年度決算の概況>

▶当年度の連結純利益は305億円となり、前年度比▲9億円の 減益となった。

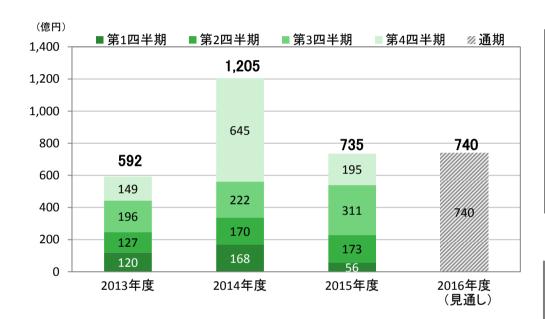
- ▶2016年度の当期純利益の見通しは250億円と、2015年度比▲55億円の 減益となる見込み。
- ▶これは、石化関連事業における持分利益の減少などによるもの。

生活産業セグメント

2016年度 通期見通し

(5/10公表)

740



	2014年度	2015年度
売上総利益	5,254	5,050
持分法損益	206	202
連結純利益	1,205	735

	2015年3月末	2016年3月末
セグメント資産	31,446	31,693

<2015年度決算の概況>

- ▶当年度の連結純利益は735億円となり、前年度比▲470億円の 減益となった。
- ▶これは、前年度に計上した減損損失振り戻し益の反動などによるもの。

- ▶2016年度の当期純利益の見通しは740億円と、2015年度比+5億円の 増益となる見込み。
- ▶これは、一過性利益の反動がある一方、鮭鱒養殖事業などでの収益 改善が見込まれることによるもの。



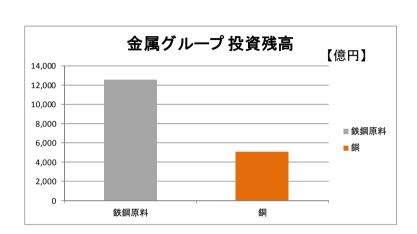
セグメント別新規投資・資産売却及び回収実績

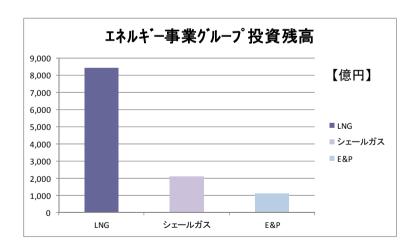
	14年度累計		15年度累計	主な案件	
(億円)	ネット	新規投資	売却及び回収	ネット	工役未行
地球環境・インフラ事業	410	950	530	420	(新規) FPSO関連事業、インフラ事業 (売却/回収) 海外発電事業、FPSO関連事業
新産業金融事業	▲1,750	1,330	1,480	▲150	(新規) ファンド関連事業、不動産事業 (売却/回収) 航空機リース事業 ファンド関連事業、不動産事業
エネルギー事業	▲ 50	2,470	240	2,230	(新規) LNG事業 (売却/回収)—
金属	1,030	580	560	20	(新規) 豪州石炭事業(生産維持型投資) (売却/回収)鉄鋼製品事業
機械	▲10	930	360	570	(新規) 船舶事業 (売却/回収) 船舶事業
化学品	190	320	70	250	(新規) アンモニア関連事業 メタノール関連事業 (売却/回収) -
生活産業	1,940	2,260	390	1,870	(新規) OLAM事業 (売却/回収)紙パルプ関連事業

一過性損益

	2014年度		2015年度				
合計	▲240		合計	,			
	J益 合計】 1,030		【一過性利		90		
E EGCC N 子会社 N 船舶デ E FPSO	ン減損振り戻し D減損振り戻し 対撤退関連税効果 売却益 Dリース関連 製品事業子会社関連	620 90 60 10 — —	E 北海 L 外食 L 有価 K プラ N シェ- K メタリ C 有価 E 海原	資源: 80 非資源: 400 強油田債務保証損失引当振戻・TA実理関連子会社有価証券売却益 証券関連損益 チナ系貴金属鉱山撤退関連税効果等 ールガス設備関連利益 レワン事業投資先売却関連損益 証券評価益 送電事業引当金一部振戻 資産売却益	現損 140 80 50		
	美失合計】 ▲1,270 : ▲970 非資源: ▲250		【一過性損失 合計】 ▲4,440 うち 資源: ▲3,850 非資源:▲410 その他: ▲180				
N シェー N 北海 E 北海 K 金属 N シェー K チリリ L 紙パ E 海底	ア探鉱開発事業減損 ールガス事業減損 事油田事業減損 事油田債務保証引当 最その他減損 ールガス設備処分損 小規模銅鉱山減損 ルプ関連子会社固定資産減損等 に送電事業引当 レワン事業投資先減損等	▲280 ▲230 ▲160 ▲130 ▲80 ▲70 ▲50 ▲40 ▲40	N K X K M N N E N N N E N N N C 減	別 調事業減損 (AAS) 豪州ブラウズLNG減損 州鉄鉱石事業減損 延税金資産取崩 アフェロクロム事業減損 舶減損・引当等 損等 プア探鉱開発事業減損等 外発電事業減損等 米探鉱開発事業減損 海油田 原油生産停止による操業費引 ニールガス遊休資産の減損 損等 代田化工英国子会社のれん減損等	▲2,710 ▲400 ▲290 ▲180 ▲170 ▲170 ▲80 ▲80 ▲80 ▲40 ▲40 ▲40 ▲40		

資源分野 主な投資残高





商品	プロジェクト	当社出資先	2015年度末			
1-3 HH			投資残高(※※)			
	BMA	MDP	4			
	C&A Clermont	MDP				
	Ulan	MDP	-			
鉄鋼原料(※)	Warkworth	MDP MDP	12,500			
政大到明/57个个(2017)	Jack Hills/	MDP	12,300			
	Oakajee Port & Rail	MDP				
	IOC	IOC				
	CMP	MCI(CMP)	=			
	Es condida	ジエコ・JECO2				
	Los Pelambres	MCCH				
銅	Anglo American Sur	MCRD	5,000			
7,	Antamina	CMA	3,000			
	Quellaveco	MCQ Copper	1			
	Brunei	Brunei LNG				
	Malaysia I (Satu)	Malaysia LNG				
	Malaysia II (Dua)	Malaysia LNG Dua				
	Malaysia III (Tiga)	Malaysia LNG Tiga	7			
	NWS	MIMI	1			
	Oman	Oman LNG				
	Oman					
	Qalhat	Qalhat LNG	8,400			
LNG	Russia	Sakhalin Energy				
LIVO	Sakhalin II	Sakhaiii Ehergy				
	Indonesia	MI Berau				
	Tangguh	belaa				
	Indonesia	Sulawesi LNG				
	Donggi-Senoro Wheatstone	PFW				
			-			
	Cameron Browse	Cameron LNG MIMI Browse	-			
	LNG Canada	Diamond LNG Canada				
	Montney上流	Cutbank Dawson Gas Resources				
シェールガス	Cordova上流		2,100			
	K2	Cordova Gas Resources				
		MCX(USA) MPDCガボン	-			
	Baudroie Merou Loche east Block 3/05, 3/05A	アンゴラ石油	1			
	' ' '	アノコラ石油 Cote d'Ivoire Japan	+			
E&P	Cote d'Ivoire CI-103	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1,100			
	Kangean	Energi Mega Pratama	1			
	Kimberly	Diamond Resources (Canning), (Fitzroy)	-			
	MEDCO	Encore Energy	1			

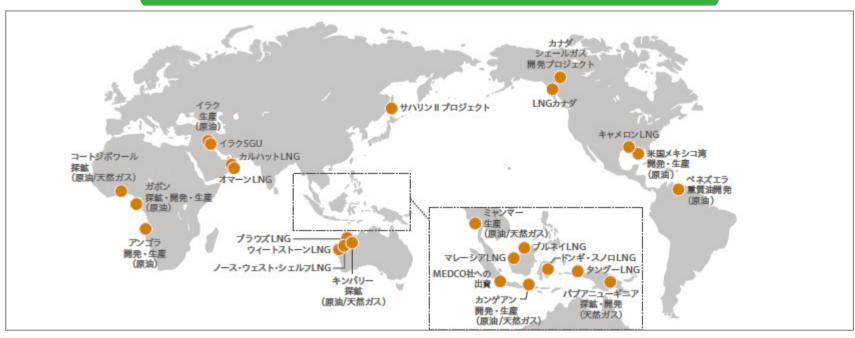
※石炭・鉄鉱石・ウランを含む

※※投資有価証券・有形固定資産・無形資産・のれんの合計金額



(**)権益保有見合い。一部当社独自の基準による。

エネルギー資源関連事業の世界展開



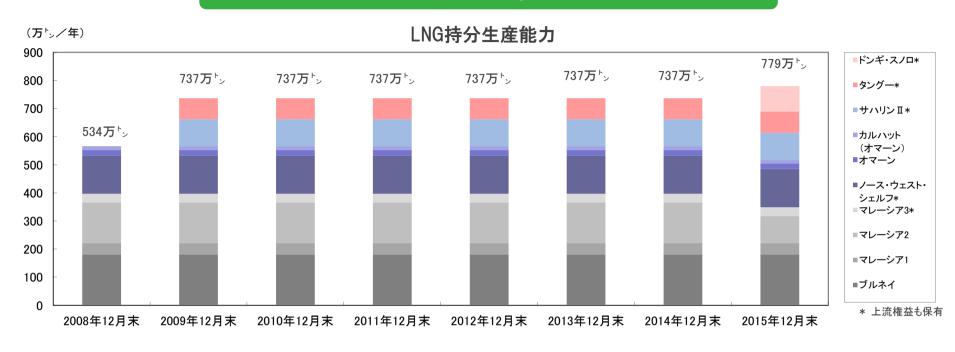


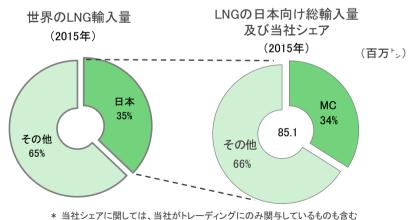
当社保有埋蔵量

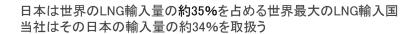




天然ガス事業









2015年の世界のLNG輸入量実績は2.4億トン 2020年にはおよそ1.4倍になると予想している(当社予想)

LNGプロジェクト一覧

既存プロジェクト

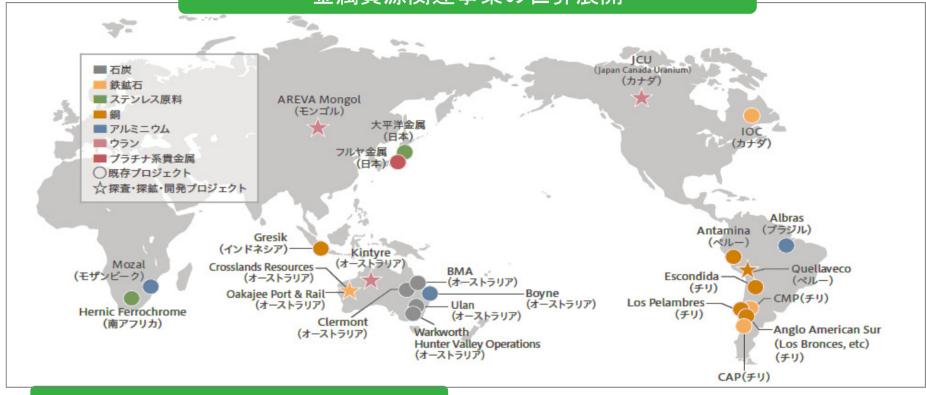
プロジェクト名 生産開始年 (百万トン)		力							
					買主	売主	株主構成	三菱商事の 参画年	事業内容*
		総量	三菱商	事シェア					
ブルネイ	1972	7.2	1.8	25%	東京電力FPC、東京ガス、大阪ガス、 韓国ガス公社、他	Brunei LNG	ブルネイ政府(50%)、Shell (25%)、 三菱商事 (25%)	1970	ABCD
マレーシア I (サトゥー)	1983	8.4	0.42	5%	東京電力FPC、東京ガス、西部ガス	Malaysia LNG	Petronas (90%)、サラワク州政府(5%)、 三菱商事(5%)	1978	ABCD
マレーシア II (ドゥア)	1995	9.6	0.96	10%	東北電力、東京ガス、静岡ガス、 仙台市ガス局、JX、韓国ガス公社、CPC	Malaysia LNG Dua	Petronas (80%)、サラワク州政府(10%)、三 菱商事(10%)	1992	A B C D
マレーシア III (ティガ)	2003	7.7	0.31	4%	東北電力、東京ガス、大阪ガス、 東邦ガス、JAPEX、韓国ガス公社、 上海LNG	Malaysia LNG Tiga	Petronas (60%)、サラワク州政府(10%)、 Shell (15%)、JX日鉱日石(10%)、 三菱商事(4%)、JAPEX(1%)	2000	ABCD
ノース・ウェスト・ シェルフ(NWS) (既存/拡張)	1989	16.3	1.36	8.33%	東北電力、東京電力FPC、東京ガス、静岡ガス、中部電力、東邦ガス、関西電力、大阪ガス、中国電力、九州電力、韓国ガス公社、広東大鵬LNG	NWS JV	Shell、BP、BHP Billiton、Chevron、 Woodside、MIMI [三菱商事/三井物産=50:50]、各1/6	1985	ABCD
オマーン	2000	7.1	0.197	2.77%	大阪ガス、韓国ガス公社、伊藤忠商事	Oman LNG	オマーン政府(51%)、Shell (30%)、 Total(5.54%)、三菱商事(2.77%)、他	1993	ABCD
カルハット	2005	3.3	0.133	4%	大阪ガス、三菱商事、 Union Fenosa (スペイン)	Qalhat LNG	オマーン政府(47%)、Oman LNG (37%)、 Union Fenosa (7%)、大阪ガス(3%)、 三菱商事(3%)、他	2006	ABCD
ロシア サハリン II	原油: 2008 (通年生産)、 LNG: 2009	9.6	0.96	10%	東京電力FPC、東京ガス、九州電力、 東邦ガス、広島ガス、東北電力、 西部ガス、中部電力、大阪ガス、 韓国ガス公社、Shell、Gazprom	Sakhalin Energy	Gazprom (50%+1株)、Shell (27.5%-1株)、 三井物産(12.5%)、三菱商事(10%)	1994* *PSA締結	ABCD
インドネシア タングー	2009	7.6	0.75	9.92%	東北電力、関西電力、SK E&S、POSCO、 福建LNG、Sempra Energy、他	Tangguh JV	BP (37.2%)、MI Berau [三菱商事/INPEX=56:44] (16.3%)、 中国海洋石油(13.9%)、 Nippon Oil Exploration Berau (12.2%)、他	2001	A B C D
インドネシア ドンギ・スノロ	2015	2.0	0.9	44.9%	中部電力、韓国ガス公社、九州電力、他	PT. Donggi- Senoro LNG	Sulawesi LNG Development(59.9%) [三菱商事/韓国ガス公社=75:25]、 PT Pertamina Hulu Energi(29%)、 PT Medco LNG Indonesia(11.1%)	2007	ABCD

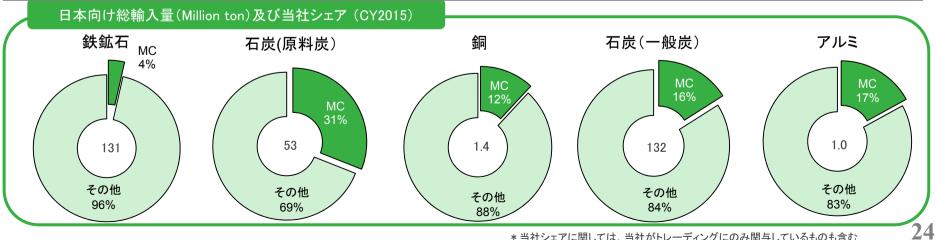
新規プロジェクト(建設中)

ウィート ストーン	2017年央	8.9	0.28	3.17%	東京電力FPC、中部電力、東北電力、 九州電力、他(持分引取)	Wheatstone Sellers (持分引取)	Chevron (64.136%)、KUFPEC (13.4%)、 Woodside (13%)、九州電力(1.464%)、 PEW (8%; 内 三菱商事39.7%)	2012	A B C D
キャメロン	2018	12.0	4.0	33.3%	三菱商事、三井物産、 ENGIE(旧GDF Suez)【委託】	Cameron LNG	Sempra Energy (50.2%)、Japan LNG Investment (16.6%,内三菱商事70%)、 三井物産(16.6%)、ENGIE(旧GDF Suez) (16.6%)	2013	A B C D

^{*}事業内容 🔼 探鉱・開発(上流)へ投資、🖪 液化基地へ投資、 🖸 マーケティング或いは輸入代行業務、 🔃 海上輸送

金属資源関連事業の世界展開







金属資源プロジェクト一覧

商品	プロジェクト	所在国	年間生産能力(*1)	主なパートナー	当社出資比率	備考
	ВМА	豪州	原料炭他 66mt(*2)	BHP Billiton	50.00%	詳細は26~27ページご参照。
	Warkworth	豪州	一般炭他 8mt(*3)	Rio Tinto	28.90%	
石炭	Hunter Valley Operations	豪州	一般炭他 13mt(*3)	Rio Tinto	32.40%	2016年2月にCoal & Allied 社の再編を完了。同社はRio Tintoの100%子会社となり、当社はMDPを通じてHunter Valley Operations炭鉱権益の32.4%を取得。
	Clermont	豪州	一般炭 12.2mt	GS Coal、J-Power	31.40%	2014年5月にRio Tintoが同社保有権益をGS Coal (Glencore 50%/住友商事 50%)に売却したことに伴い、 パートナーが変更。
	Ulan	豪州	一般炭 13.9mt(*4)	Glencore	10.00%	2014年4-6月期に拡張工事が完了。
	Jack Hills/ Oakajee Port & Rail	豪州			100%	
鉄鉱石	юс	カナダ	ペレット 12.5mt コンセントレート 9.25mt	Rio Tinto	26.18%	拡張計画第二段階が2014年5月に完工(22mt→23.3mt)。
	СМР	チリ	ペレット/ペレットフィード他 18mt	CAP	25.00%	Cerro Negro Norte 鉱山(年間生産能力 4mt)は2014年5月に生産開始。
	Mozal (製錬)	モサ・ンピーク	アルミ地金 560kt	South 32	25.00%	2015年5月に、BHP Billitonの会社分割によりSouth 32にパートナーが変更。
アルミニウム	Boyne Smelters	豪州	アルミ地金 560kt	Rio Tinto	9.50%	(第1、第2系列)
7702-74	(製錬)	SK711	7 77 25 m 300Kt	NIO TITLE	14.25%	(第3系列)
	Albras(製錬)	ブラジル	アルミ地金 450kt	Hydro	2.70%	
	Es condida	₹IJ	銅 1,200kt	BHP Billiton, Rio Tinto	8.25%	新選鉱所は完工済み、現在立上げ中。海水淡水化プラント建設中。硫化鉱用堆積パッドの拡張プロジェクトが2016年3月期 に完工。
	Los Pelambres	チリ	銅 410kt	Luksic Group(AMSA)	5.00%	
	Anglo American Sur	ŦIJ	銅 500kt	Anglo American	20.4%	
銅	Antamina	^°ルー	銅 450kt 亜鉛 400kt	BHP Billiton、 Glencore、Teck	10.00%	
	Quellaveco	^°ルー		Anglo American	18.10%	事業化調査を推進中(年間平均生産量:銅 220kt)
	Gresik(製錬)	イント・ネシア	銅 300kt	PT Freeport Indonesia 三菱マテリアル JX日鉱日石金属	9.50%	
ステンレス	大平洋金属(製錬)	日本	フェロニッケル 40kt	新日鐵住金ステンレス 日新製鋼	8.15%	
原料	Hernic	南ア	フェロクロム 420kt	IDC, ELG, IFC	50.10%	
	Kintyre	豪州		Cameco	30.00%	事業性評価を実施中。
ウラン	AREVA Mongol	モンゴル		Areva	34.00%	探査活動並びに事業化調査を推進中。
	JCN	ከተያ [*]		伊藤忠商事 海外ウラン資源開発	33.33%	カナダに14の未開発鉱区を保有し、探査活動並びに事業化調査を実施中。
プラチナ系 貴金属	フルヤ金属 (貴金属加工業)	日本	各種貴金属製品	田中貴金属、Lonmin	20.24%	左記は議決権所有割合。

^(*1)生産能力はプロジェクト100%。

^(*2)但し、Norwich Park炭鉱及びGregory Crinum炭鉱はケア&メンテナンス中。

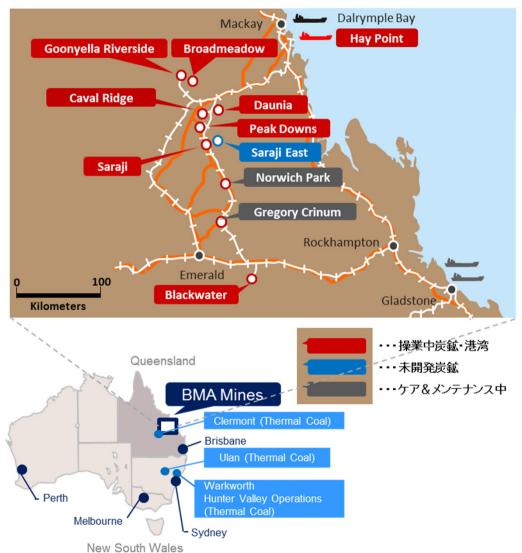
^(*3) Warkworth及びHunter Valley Operationsの年間生産能力については非公表であるため、2015年の生産量(暦年ベース)を記載。

^(*4)Ulan West含む。



MDP(石炭)事業の概要

※2016年3月末時点



BMA炭鉱一覧(含:未開発鉱区)

Goonyella Riverside炭鉱

露天掘 強粘結炭

Broadmeadow炭鉱

坑内掘 強粘結炭

Daunia炭鉱

露天掘 準強粘結炭/吹込み用微粉炭

Caval Ridge炭鉱

露天掘 強粘結炭

Peak Downs炭鉱

露天掘 強粘結炭

Saraji炭鉱

露天掘 強粘結炭

Saraji East炭鉱(未開発)

強粘結炭

Norwich Park炭鉱(ケア&メンテナンス中)

露天掘 強粘結炭

Gregory Crinum炭鉱(ケア&メンテナンス中)

露天掘(Gregory)·坑内掘(Crinum) 強粘結炭

Blackwater炭鉱

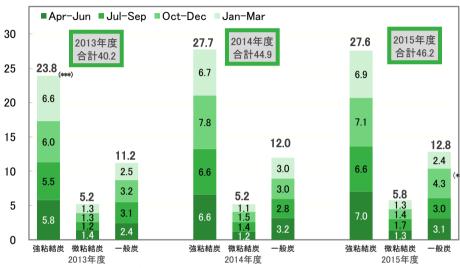
露天掘 準強粘結炭/微粘結炭/一般炭



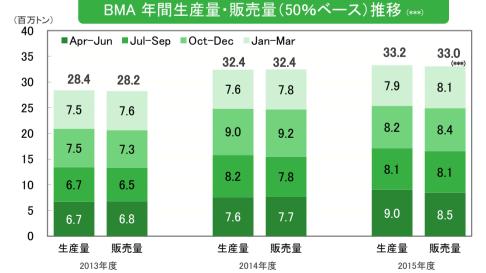
石炭事業

(百万トン)

MDP 年間販売量の推移 (*) (**) (***)(****)



- (*) BMA以外の一般炭持分販売量も含む
- (**) Coal & Alliedの生産量については、持分連結したことに伴い2010年度以降、期ずれを反映
- (***) 四半期毎の加算と合計値は四捨五入の関係で一致しないことがある
- (****) Coal & Alliedの再編に伴う連結対象期間変更の影響



▶BMAの第4四半期生産量は、炭鉱における生産性向上の取組は順調であったものの、 雨季の影響により第3四半期を下回った。



出典: •Platts, a division of McGraw Hill Financial, Inc.,

Argus Media Limited

米ドル/豪ドル 期中平均レート推移

	1Q	2Q	3Q	4Q
2012年度	U\$1.0063/A\$	U\$1.0381/A\$	U\$1.0391/A\$	U\$1.0386/A\$
2013年度	U\$0.9907/A\$	U\$0.9158/A\$	U\$0.9277/A\$	U\$0.8962/A\$
2014年度	U\$0.9329/A\$	U\$0.9295/A\$	U\$0.9049/A\$	U\$0.8754/A\$
2015年度	U\$0.7775/A\$	U\$0.7518/A\$	U\$0.7410/A\$	U\$0.7360/A\$

出典: Mitsubishi UFJ リサーチ&コンサルティング

- *上記為替レートは1Qから各Qまでの期中平均レート
- *上記為替レートはMDPの実効レートとは異なる

鉄鉱石事業

当社持分推移 IOC生産量・CMP販売量 ※※※)

(百万トン) 5 ■ Jan-Mar ■Apr-Jun ■Jul-Sep ■Oct-Dec 4.6 4 1.3 3.9 3.6 3.2 1.0 3 1.2 1.2 1.1 1.0 2 0.8 0.7 1.2 1.1 1.1 0.9 0.7 1 1.1 0.9 0.8 0.6 0.7 0 IOC CMP IOC CMP IOC CMP 生産量 販売量 生産量 販売量 販売量 生産量 2014年 2015年 2016年

豪州鉄鉱石(粉鉱)価格推移

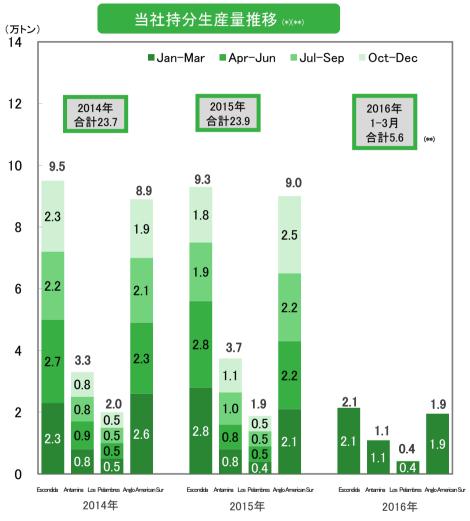


出典: FOB WA netback based on Platts IODEX

^(*) 持分生産量・販売量グラフに於ける年度=1月~12月



銅事業





・Escondida銅鉱山は含有銅分にして年間100万トン以上生産する世界最大の銅鉱山です。

採掘可能資源量

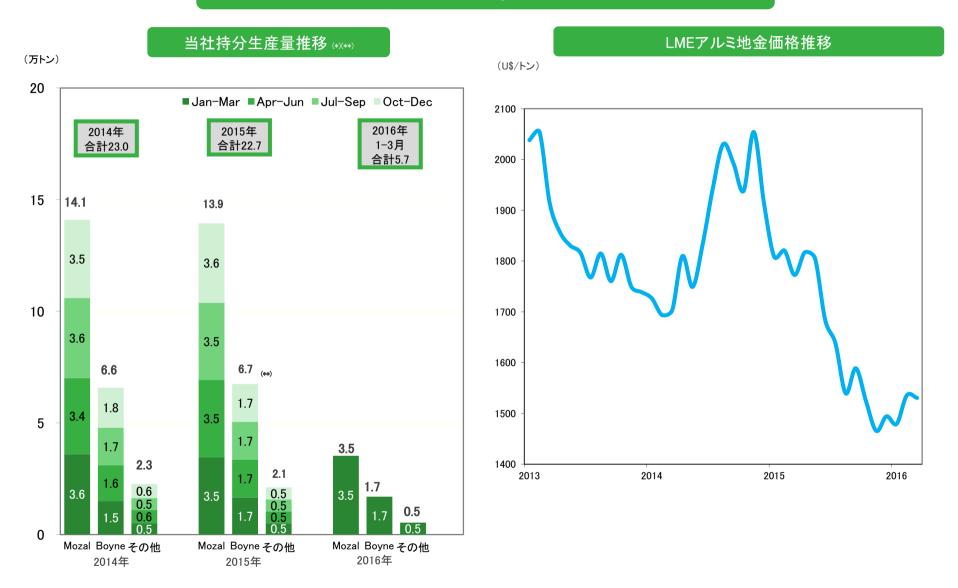
Escondida銅鉱山 50年以上
Los Pelambres銅鉱山 50年以上
Antamina銅鉱山 約15年以上
Los Bronces銅鉱山 30年以上
El Soldado銅鉱山 約15年

^(*) 持分生産量・販売量グラフに於ける年度=1月~12月

^(**) 四半期毎の加算と合計値は四捨五入の関係で一致しないことがある。



アルミ事業





地球環境・インフラ事業グループ(新エネルギー・電力事業)

再生可能エネルギーを含む国内外での発電事業、欧州での送電事業及び、全世界向け電力関連設備取引を推進

概要

■ 欧阿中東電力事業部

• 欧州、中東地域での火力発電、再生可能エネルギー 発電事業の運営、及び送電事業の運営

■ 米州電力事業部

• 北・中・南米地域での火力発電、再生可能エネルギー 発電事業の運営

■ アジア・太洋州電力事業部

• アジア・太洋州地域での火力発電、再生可能エネルギー発電事業の運営

■ 国内電力第一部

- 国内でのEPC*トレーディング事業、電力小売り事業・ 分散型電源事業の運営
 - 国内電力第二部
- 国内での発電事業の運営
- 海外電力プラント部
- 海外でのEPC*トレーディング事業
 - *EPC = Engineering, Procurement & Construction

事業例

<u>インドネシア</u> <u>地熱発電事業</u> (電力事業(アジア・大洋州))

香港に設けた地域拠点DGA 社が世界最大級の23万kW 地熱発電所を所有する Star Energy Geothermal社 へ20%出資



米国 <u>風力発電事業</u> (電力事業(米州))

米国に設けた地域拠点DGC社が米国のアイダホ州で21万kW(2つのプロジェクト)の風力発雷設備を運営



<u>欧州</u> 海底送電事業 (送電事業)

英国に設けた送電事業の拠点DTC社が世界最大級の洋上風力用送電線約900kmを北海及び英国冲に建設・運営中



|地球環境・インフラ事業グループ(インフラ事業)

社会基盤分野(社会インフラ)及び産業基盤分野(産業インフラ)において国内外で事業展開

概要

■ 水事業部

- ユーティリティーである水インフラのトータル・ソリューションプロバイダーとしてグローバルに事業を展開
- 交通インフラ事業部
- 空港・港湾・鉄道分野においてEPCトレーディング及び 運営型事業をグローバルに展開
- エンジニアリング事業部
- 千代田化工事業の展開
- FPSO傭船事業の展開
- ・ エネルギーインフラ受託型事業の展開
- プラントプロジェクト部
- 化学・製鉄・肥料・セメントプラント分野のEPC*トレーディング及び事業投資、コンプレッサのトレーディング。

*EPC = Engineering, Procurement & Construction

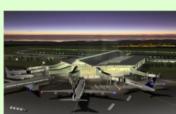
事業例

Metito Holdings Limited (水事業)

ドバイに本社を置く総合水事業会社。 中東、アフリカ、アジアの水市場の プラットフォームとして、建設、運転保 守、アセットマネジメント、事業運営を 展開。

<u>モンゴル</u> 新ウランバートル国際空港 (交通インフラ事業)

JVリーダーとして新国際空港を ウランバートル郊外に建設中。



<u>FPSO(**)事業</u> (エンジニアリング事業)

SBM Offshore社と共に、 浮体式の原油及びガスの 生産・貯蔵・積出設備を運営。



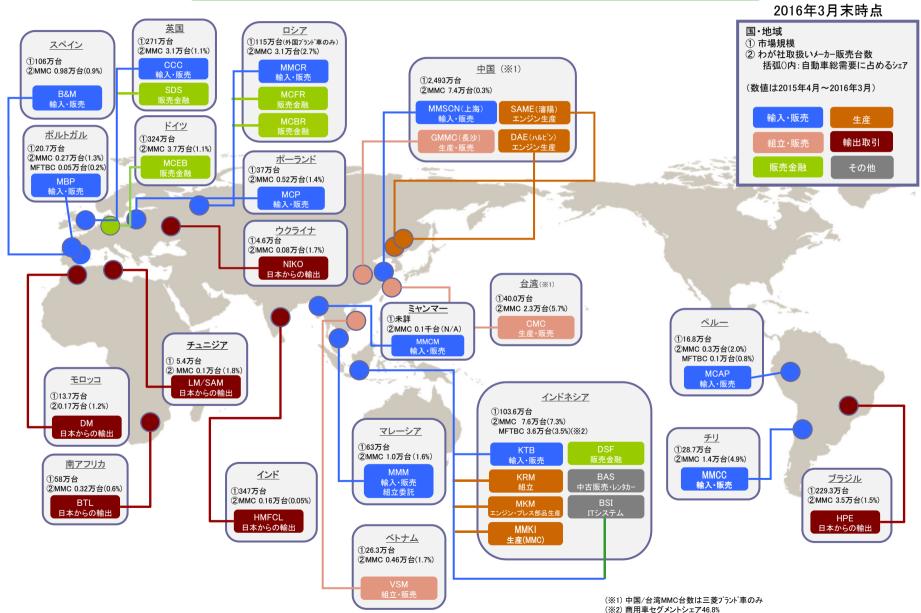
Cidade de Ilhabela

METITO

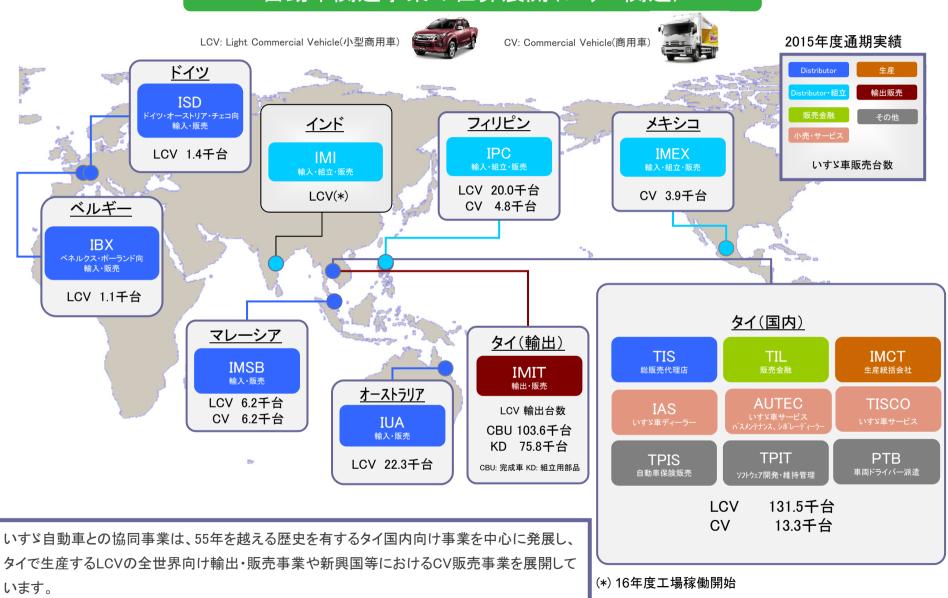
※Floating Production, Storage and Offloading System: (浮体式海洋原油・ガス生産貯蔵積出設備)



自動車関連事業の世界展開(三菱自動車関連)



自動車関連事業の世界展開(いすゞ関連)





生活産業グループの事業領域

原料調達 原料加工 製品製造 中間流通 小売 ☆Olam(シンガポール:食品原料等 ☆亜恵美食有限公司(中国:フードコート事業 Yamazaki Indonesia (イント・ネシア:製パン) **☆**Kaneka Foods Indonesia Munchy Indonesia (イント・ネシア:製菓) ☆Nissin Foods ASIA (シンカ・ホール:即席麺) (イント、ネシア:加工油脂) Ichi Tan Indonesia (イント・ネシア:飲料) ☆Nissin Foods Thailand (タイ:即席麺) ★AMSCO (タイ:タピオカ澱粉) ☆Kewpie Indonesia (インドネシア:調味料) ★Bridgestone Sales Thailand (१४:१४१) ★Nitto Fuji International Vietnam (ペトナム:ミックス粉製) ☆Kewpie Malaysia(マレーシア:調味料) 海外消費 ★First Japan Tire Services (ミャンマー:タイヤ) ★Indiana Packers (米国:食肉) ☆Kewpie Vietnam (ペトナム:調味料) ★ Riverina 市場での ☆Fast Retailing Indonesia (インドネシア:衣料品) ★California Oils (米国:油脂) (豪州·飼料) ★TH Foods (米国:米菓) ☆Uniglo (Thailand) Company (外:衣料品) 事業開発 ☆Lluvia Limited (ミャンマー: 製粉・コーヒー) ☆Muji Europe Holdings (英国:衣料品·生活雑貨) ★Princes (英国:食品·飲料) ☆Muji U.S.A. (米国:衣料品·生活雑貨) ☆EITI、EIMI(イント ネシア: 紙おむつ) ☆北京華鴻・北京天星(中国:医薬品・医療品販売) ☆国薬菱商(中国:医療材料・機器販売) ★日本農産工業(飼料) **★**Agrex ★東洋冷蔵 (水産) ☆伊藤ハム米久 (食肉) ☆ローソン ☆ディーライツ (米国、ブラジル、豪州、 ★日東富士製粉(製粉) ★フードリンク (食肉) ☆カンロ (菓子) (コンピニエンスストア) (コンテンツ、販促支援) シンガポール、中国:穀物) ★日本食品化工 (澱粉) ★アートコーヒー (コーヒー) ★三菱食品 (食品卸) ★Sesaco (米国:胡麻) ★大日本明治製糖 (製糖) ☆ライフコーポレーション☆ロイヤリティ ★TMAC(タイ:海老) マーケティング (食品スーパーマーケット) 食料 等 ★Southern Cross Seafoods (チリ:鮭鱒) (共通ポイント事業) ☆日本KFC ★Cermag Group AS (ノルウェー・チリ・カナタ゛: 鮭鱒) ホールディングス ☆Ipanema農園 (プラジル:コーヒー) (外食チェーン、ピザデリバリー) ★ジャパンファーム (食肉) ☆トランザクション・ メディア・ ネットワークス (電子マネー決済) ☆ヒマラヤ ★三菱商事ファッション (スポーツ用品販売) (日本・イント・ネシア・カンホ・シ・ア他:繊維製品) ☆Mitsubishi Cement / MCC Development 繊維 ★ライフギア(靴) (米国:セメント・生コン) 資材 ★三菱商事建材(セメント・木材建材) ★Cape Flattery (豪州:硅砂) ★三菱商事パッケージング^{*}(紙製品·包装資材·包装関連機械) ★エム·シー·ヘルスケア(医療材料·機器·医薬品等販売) ヘルスケア ★子会社 ☆関連会社

食料関連事業の主な事業投資先

